

発寒ひかり
保育園だより

2022年
8月号

巻頭言

毎年8月は平和について特に考える月ですが、長期間に渡るウクライナ侵攻など、悲しいことに今年は、例年にも増して『戦争』の影が身近に感じられるように思います。

全国私立保育連盟発行の「保育通信 7月号」に、沖縄の保育園の園長先生が「今を戦前にしてはいけない」という文章を寄せていました。その中で『戦争のつくりかた（りぼん・ぷろじえくと…2004年発行。2014年「続・戦争のつくりかた」発行）』という絵本の存在を知りました（現在は注文不可ですが、WEBで全ページ読めます）。一部紹介します。

「わたしたちの国は、60年ちかくまえに、「戦争しない」と決めました。だからあなたは、戦争のためになにかをしたことがあります。でも、国のしくみやきまりをすこしずつ変えていけば、戦争しないと決めた国も、戦争できる国になります。（中略）さあ、これで、わたしたちの国は、戦争できる国になりました。政府が戦争すると決めたら、あなたは、国のために命を捨てることができます。（中略）人のいのちが世の中で一番たいせつだと、今までおそわってきたのは間違いになりました。」

この事が、全くの絵空事とは言えない状況になってきてはいないでしょうか。

最後のページはこう締めくくられています。

「わたしたちは、未来をつくりだすことができます。戦争しない方法を、えらびとることも。」

忙しい日々の中ですが、少し立ち止まってお子さんと一緒に『平和』について考えてみませんか？

園長 阿部 尚子